

令和 8 年度 東京農工大学 BX・GX 特任助教公募要項

【公募概要】

東京農工大学では、「ブルートランスフォーメーション (BX)・グリーントランスフォーメーション (GX) 国際教育研究拠点」(以下、BX・GX 国際教育研究拠点) に関する研究分野において、特任助教 1 名を公募いたします。任期は令和 10 年 3 月 31 日迄です。

採用された研究者は、本学の未来価値創造研究教育特区 BX・GX 国際教育研究拠点に所属し、協力部局(工学研究院及び農学研究院)及び外部連携機関である独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)の関連教員/研究者と連携しながら、同拠点の教育・研究に従事します。BX・GX 国際教育研究拠点の教育プログラム構築の補助を含め、実習教育・調査研修を担当し、教育・研究の質的向上への貢献が期待されます。

【募集分野】

地球規模のエネルギー・資源・食料等の課題解決に向けては、陸域・海域を含むグローバルな視点での物質循環を理解したものづくり・エネルギー戦略の推進が求められます。本 BX・GX 国際教育研究拠点では、従来にはない海域と陸域をつなぐグローバルな視点での物質循環を理解したモノづくり・エネルギー戦略に貢献する国際的人材の育成に取り組んでいます。生物を介して海洋や森林に取り込まれるカーボンの利活用や、陸域と海域に跨る地球規模の物質循環の理解に向けた教育・研究推進の強化のため、以下の融合学問領域を担う特任助教を 1 名公募します。

(学問領域)

バイオテクノロジー研究に携わり、ブルーカーボンを利活用する新しい融合学問領域や合成生物学を利用した新しいものづくりプロセスの創出・発展を担うことのできる人材を募集します。例えば、海洋光合成微生物の分子育種、オミクス解析、インフォマティクス、ライフサイクルアセスメントなどのいずれか、または複数を専門とし、バイオマス・有価物生産、物質・エネルギー変換、炭素貯留、マテリアル開発などの応用へと展開することを志向する人材を求めます。この専門性に基づいて本拠点に参画する研究者および海外の関連研究者と連携し「農学・工学・海洋学の連携による融合学問領域」の教育・研究に貢献できる意欲的な人材を求めます。

【応募資格】

博士の学位を有している方、業務遂行に支障のないレベルで日本語によるコミュニケーションが可能な方、および上記の分野及び教育・研究キーワードに該当する領域において、独創的な研究を推進している方を対象とします。また、博士の学位取得後 5 年程度以内の方が対象となります。

【選考方針】

選考は、1 次選考(書面)と、2 次選考(面接)の 2 段階で行います。

選考にあたって、本学では特に以下の点を重視します。

- ・ 国際的に評価される研究業績を有している。
- ・ 本拠点の関連教員/研究者と連携して、拠点の運営と教育への関与が期待できる。
- ・ 海外研究機関の研究者との国際共同研究並びに国際共著論文への貢献が期待できる。

【教育活動について】

採用された場合は、教育プログラム構築の補助を含め、実習教育・調査研修を担当していただきます。

【給与について】

年俸制：年俸 670 万円程度（博士課程修了後 5 年程度の経験年数を有する者の金額。学歴・経験年数による）

諸手当：通勤手当、住居手当、扶養手当（全て、本学で定める支給要件を満たした場合）

【所属機関、勤務地】

所属：東京農工大学 未来価値創造研究教育特区 BX・GX 国際教育研究拠点

機関名：東京農工大学

機関種別：国立大学法人

本部所在地：〒183-8538 東京都府中市晴見町 3-8-1

勤務地：小金井キャンパス 〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

職種：特任助教

勤務形態：常勤、裁量労働制（7 時間 45 分/日）

（同意しない場合は、8：30～17：15 時間外労働あり 休憩時間 60 分）

【任期】

任期：令和 10 年 3 月 31 日迄（予算の状況及び勤務実績等を勘案し、有期労働契約の期間の始期から 5 年を超えない範囲内で更新する場合がある）

【着任時期】

令和 9 年 2 月 1 日以降、出来るだけ早い時期。

【応募締切】

令和 8 年 11 月 2 日(月)16 時

【応募書類】

（1）履歴書（写真貼付、E-mail アドレス記入）URL より様式をダウンロードの上、作成すること <https://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/rirekisho.html>

（2）研究業績リスト（学術論文、総説・解説、学会発表(国内、国際)、その他、に分けて記載すること）

（3）主要論文別刷（pdf）（3 編以内。必ず 1 編は添付すること）

（4）これまでの研究成果の概要（pdf）（1500 字程度）

(5) 今後の本学における教育・研究計画の概要(pdf) (BX・GX 国際教育研究拠点において取り組みたい研究及び教育への貢献を含む、1,500 字程度)

(6) 所見を求め得る方 2 名程度の氏名と連絡先

【応募方法】

・応募書類を単一の PDF ファイル (容量 10 MB 以下) に纏め、下記【書類提出先】E-mail アドレスまで電子メールで提出して下さい。なお、メールの件名 (Subject) に「BX・GX 特任助教応募書類」と記載のこと。

- ・書類審査の後、候補者若干名に対し面接を行います。
- ・面接のための旅費は応募者の負担とします。
- ・結果通知も含め、選考に関する連絡は、原則として電子メールで行います。
- ・応募書類については、本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。
- ・応募の事実是非公開としますが、選考上必要な範囲において照会等を行うことがあります。
- ・応募書類は返却しません。

【選考スケジュール】

1 次選考 (書面審査) : 令和 8 年 11 月初旬

2 次選考 (面接審査) : 令和 8 年 11 月中旬 (予定)

着任 : 令和 9 年 2 月 1 日以降

【問い合わせ先】

東京農工大学工学部生命工学科

生命分子工学・海洋生命工学研究室

教授・田中 剛

TEL: (042)388-7401 E-mail: tsuyo@cc.tuat.ac.jp

【書類提出先】

東京農工大学小金井地区事務部戦略企画室

TEL: (042)388-7741 E-mail: sen-tk@cc.tuat.ac.jp